海の京都

京都府北部地域連携都市圏

昨年度実施した主な取り組み

舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町で構成される京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会では、都市部への魅力の発信や移住定住の促進など、府北部が協力して地方創生に取り組んでいます。昨年度から取り組んでいる主な事業を紹介します。

生産者と事業者のビジネスマッチング

府北部で活躍する生産者と事業者の情報交換や交流を目的に行う農商ビジネスマッチング事業を実施。昨年度は5市2町域内のマッチングを目的とした商談会を与謝野町で3回実施。13件の商談が成立しました。さらに、北部の生産者と京都市内の事業者による商談会も京都市で別途開催し、5市2町の食材をPR。6件の商談が成立しました。商談会を開催することで、事業者間のコラボレーションによる新商品の開発や新たな販路の拡大と都市部に対する魅力の発信に努めています。

合同企業説明会に130人 Uターン希望者を支援

2019年卒業予定の学生や既卒者、Uターン希望者を対象に、府北部5市2町の企業136社が参加する合同企業説明会を5月21日、京都市勧業館みやこめっせ（京都市）で行いました。当日は各企業の説明ブースや北京都ジョブパーク、ハローワークなどの相談窓口、各種情報コーナーを設置し、学生や一般の求職者130人（学生106人、一般24人）の参加がありました。

昨年度は133人（学生95人、一般38人）の参加があり、この説明会をきっかけに採用された人は22人（学生16人、一般6人）でした。

▲ビジネスマッチング事業では多くの商談が成立

北部各市町の図書館 広域利用でさらに便利に

平成30年4月1日から行っている図書館連携事業。北部5市2町在住の人を対象に、いずれの市町の図書館でも本を借りられるようになりました（貸出券の発行や利用方法は各図書館の利用規定に準じる）。

同事業は、北部地域の図書館がより利用しやすいよう検討していたもので、引き続き図書館関係者による懇話会を実施するなど、北部地域全体で情報共有を行いながら一層の広域利用を考えていきます。

《府北部の主な図書館》◇東図書館（☎62・0190）◇西図書館（☎75・5406）◇福知山市立図書館（☎0773・22・3225）◇綾部市図書館（☎0773・42・6980）◇宮津市立図書館（☎0772・22・2730）◇峰山図書館（☎0772・62・5101）◇伊根町コミュニティセンターほっと館 図書情報室（☎0772・32・0566）◇与謝野町立図書館（☎0772・46・2451）

▲合同企業説明会の様子

▲東図書館の館内

加圧式給水車を供用

府北部地域連携都市圏形成推進協議会を構成する舞鶴市、宮津市、伊根町、与謝野町の4市町で応急給水体制の強化を目的に加圧式給水車を共同で整備。3月26日には舞鶴市役所で連携協定の締結式を行いました。

協定では、今後の維持管理費用は、それぞれの市町が使用実績に応じて負担することを定めました。配備した給水車は、タンクの容量が1，700㍑で、高さ約25㍍まで送水が可能。病院や老人福祉施設、学校、ホテルなど、高層建物の屋上に設置されている受水槽への給水にも対応できます。

▲供用を開始した加圧式給水車

地域ブランドを活用したポータルサイトを開設

府北部UIターンプロジェクトの一環として構成5市2町への移住・定住を進めるため、地域ブランドの確立を目指しています。昨年度は移住定住ポータルサイト「たんたんターン」を立ち上げたほか、移住者の生活を紹介する冊子（フルカラー22㌻、1万部）を作成。また、生活体験事業に参加した2世帯の体験談を記事化して同サイトで紹介するなど、移住希望者をターゲットに複数のメディアを利用し情報を発信しました。

今年度も地域の魅力を発信し移住を考えている人の「入口」を広げるため、府北部の地域ブランドを活用した情報発信事業と体験提供事業に取り組みます。

▲移住者の生活を紹介する冊子

人事交流 舞鶴市と京丹後市

昨年度、構成5市2町の首長会議で職員の人事交流が合意され、今年度は本市と京丹後市との間で人事交流を実施しています。これにより、さらなる情報共有や事業の推進を目指すほか、他市の業務に携わることによる職員のスキルアップなど、将来に向けて意義ある取り組みとして進めていきます。

インタビュー 舞鶴⇒京丹後 Interview

京丹後市市長公室
政策企画課総合政策企画係
山田 涼大 さん

京丹後市と舞鶴市の「架け橋」に！

京丹後市では主に、「自治体との連携事業」を担当しています。府北部5市2町や丹後地域2市2町でスクラムを組み、共通課題の解決に向けて連携を進めているほか、友好都市の木津川市、豊岡市、尼崎市などと文化、産業、観光などの分野で交流・連携を図っています。また、社会・経済のグローバル化が進む中で、外国人・日本人を問わず“すべての人が真に住みやすいまち”の実現に向けた「多文化共生社会」の推進に携わっています。業務は多岐に渡りますが、職場の皆さんと協力しながら日々奮闘しています。

新たな環境で築いた各自治体とのネットワークや人とのつながり、培った知識や経験を舞鶴市に還元し、京丹後市にも舞鶴市の働き方や先進的な取り組みなどを伝えることで、両市の「架け橋」となる存在になりたいと思います。

京丹後市と舞鶴市、そして、京都府北部のさらなる発展に向けて努めたいと思います。

インタビュー 京丹後⇒舞鶴 Interview

舞鶴市政策推進部
企画政策課企画調整係
北尻 光 さん

京都府北部地域発展のために

舞鶴市では主に、府北部5市2町の連携事業をはじめ、次期総合計画の策定や海事関係団体との連絡調整を担当しています。舞鶴に来るまでは、長い間、広報担当として広報紙の作成などに携わっていたので初めてのことばかりですが、外から来た自分の視点やこれまでの経験を生かしながら、職員の皆さんと協力して業務を進めていきたいと考えています。現在、地方都市は人口減少、少子高齢化という課題に直面しており、私の住む京丹後市でもすでに限界集落の増加や人材不足など深刻な影響が出始めています。

今後、単独の市町では行政サービスを維持していくことが困難になることが予想される中、自治体の枠を越え、それぞれの強みや特徴を生かした連携の推進がますます必要になってくると思います。舞鶴市では、積極的にまちに出て、地域を知り、人を知る中で広い視野を培い、京丹後市に戻ってからも京都府北部地域の発展に向けて職務に励んでいきたいと思います。